

令和元年度シラバス

科目	家庭基礎	学年・類型	1年・共通	単位数	2単位
	教科書	家庭基礎 明日の生活を築く (開隆堂)			
	副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) 最新生活ハンドブック (第一学習社)			
学習目標	家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、家族の健康と衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識を習得し、男女が協力して家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けることを目標としています。				
学習心得	学習内容を自分の家庭や将来の生活に当てはめて考え、主体的に学習に取り組みましょう。授業で身につけた知識や技術は日常生活の中で生かし、日々の生活の改善・充実に努めましょう。 課題などの提出物については、期限を厳守すること。実験・実習・話し合いなどは、グループで協力して進めますが、特に調理実習は、清潔・効率・危険防止を意識し、生活的自立を目指して取り組みましょう。				
評価方法	各学期の評価は、授業中の学習や実験・実習に取り組む姿勢、プリント、家庭科ノート、調理実習ノート、ホームプロジェクトなどの提出物、実技、作品、小テストや定期考査の成績等を総合して行います。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。				
	単元 (予定時数・実施時数)	主な学習活動			
一学期	第1部 第1章 青年期の自立と家族・家庭 第1部 第2章 子どもの発達と保育 第1部 第4章 共生社会における地域や家族 第1部 第3章 高齢期の生活 第1部 第4章 共生社会における地域や家族 ホームプロジェクト 期末考査 (24・)	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生を生涯発達の視点で捉え、青年期の生き方について考えます。 男女が相互に協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について学習します。 家族や家庭生活が多様化していることを知り、自分の将来の結婚や家庭生活の在り方や、ワーク・ライフ・バランスについて考えます。 乳幼児の発育と発達について学び、親となる自分に思いをはせます。 乳幼児期における養育者や家族のかかわり方、家庭生活の重要性について理解します。また、子どもが育つ環境について、虐待、貧困、子育て支援の現状を通し学習します。 高齢期の心身の変化や、高齢化の現状について知り、自らの高齢期について考えます。また、社会全体で高齢者を支える仕組みについて学習します。 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解します。生活の中から課題を見だし、解決方法を考え、計画を立てて実践できるようにします。 			
二学期	第2部 第1章 食べる 第2部 第2章 着る 期末考査 (26・)	<ul style="list-style-type: none"> 日常の食生活を振り返り、青年期の食事の重要性を理解します。 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを日常の食事と関連づけて理解し、栄養的にバランスのとれた食事を具体的に考えられるようにします。 日常用いられる主な食品や実習で用いる食品の栄養的特質と調理上の性質について理解し、家族の献立作成に生かすとともに、調理法の要点と調理の基礎技術を身に付けます。 被服の保健衛生的機能と社会的機能、着用目的に応じた健康的で快適な着装について考えます。 被服材料の特徴を理解し、組成表示や取り扱い絵表示、サイズ表示などの意味を理解します。選択や管理などに関する基礎的な知識と技術を学習し、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにします。 			
三学期	第2部 第3章 住まう 第2部 第4章 消費者市民として生きる 学年末考査 (20・)	<ul style="list-style-type: none"> 平面図を読み取り、家族の生活と各ライフステージに応じた住居の条件について考えます。 自然と共生した快適な住まいの工夫について考えます。また、防災意識を高め、地域コミュニティの災害対策について考えます。 生涯を見通した経済計画の立て方を学びます。 販売・流通の多様化について理解し、合理的な意思決定の方法を学びます。 消費者市民社会の一員として、持続可能な消費生活を送れる資質を身に付けます。 自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てます。 			